

福岡県で国内9例目の高病原性鳥インフルエンザ (疑似患畜)が発生！

11月25日、福岡県宗像市の養鶏場で、国内9例目の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。福岡県における今シーズン初めての発生となります。

【農場の概要】 農場所在地：福岡県宗像市
飼養状況：肉用鶏 約9万4千羽

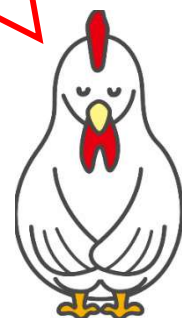
【経緯】

- 11月24日 死亡鶏が増加した旨の通報を受けて、当該農場への立入検査を実施。同日、簡易検査を実施し陽性。
- 11月25日 遺伝子検査を実施したところ、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

予防対策の重要ポイント



これらのポイントを再点検して、ウイルスの侵入防止対策を徹底しましょう



飼養する家きんに異常を認めた場合は、すぐに家畜保健衛生所までご連絡ください！！
電話 0233-29-1357(夜間・休日も対応)